

「東郷学園義務教育学校の鳥丸(上地区)鷹踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立東郷学園義務教育学校
2. 学年・人数	5～7年生 計26人
3. 日時・場所	<p>(1) インタビューの日時・場所 令和6年5月30日(木)</p> <p>(2) 練習の日時・場所 令和6年6月～10月 鳥丸地区コミュニティセンター, 学校</p> <p>(3) 発表の日時・場所 令和6年11月1日 東郷学園義務教育学校学校(本校体育館)</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 鷹踊り(たかおどり)</p> <p>(2) 由来 昭和30年代から, 旧東郷町鳥丸地区(鳥丸上自治会)と旧宮之城町泊野地区は, 地理的に近く, 毎年春には, 花見をしながら親睦を深めていた。その席で披露されたのが, 泊野地区の「鷹踊り」であった。鳥丸上自治会ではそれまで踊り継がれているものがなく, 泊野地区の「鷹踊り」を見て気に入り, 泊野地区の鷹踊り保存会長に依頼し, 踊り方を少し変えて, 踊られるようになった。</p> <p>(3) 構成等 男女が一組になり, 男子は鷹を, 女子は餌さし棒を持って踊る。三味線や歌, 太鼓に合わせた拍子木の音も軽やかに, 鷹を手に持ち踊る袴姿の男性と, 餌さし棒を持った紺着物にたすき姿の女性とが, 掛け合いをしながら踊りを進めていく。</p>
5. 文化財伝承・活 用の取組において 地域との連携や工 夫した点等	鷹踊り保存会の方々の高齢化に伴い, 鷹踊りの存続が危ぶまれている状況がある。学校においては, 各地域に伝わる伝承活動を継承する観点から, 今後もふるさと・コミュニケーション科の学習としての取組を続けていく。
6. 取組の様子 (練習状況, 発 表の場等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">地域の方の話を聞く子供たち</p>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥丸の伝統芸能について調べ, なぜこの伝統なのか, いつから始まったのかなどの疑問が調べていくうちに広まってきた。また, それを聞くことができてよかった。踊れなかったが, 今度いつか踊ってみたい。 ・ 鳥丸の歴史や音楽などについてたくさん調べることができた。時間が少なかったので, 踊れなかったが, 今度いつか踊ってみたい。